

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	フォーキャスター	Lv.1:	セージ	性別	男
称号クラス				年齢	22
種族	ヒューリン/エルダナーンハーフ			境遇	出世
出自(効果)	一般人			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	9	10	13	9	14	3
ボーナス	3	3	3	4	3	4	1
クラス修正	0	1	1	2	1	1	0
他修正							
能力値	3	4	4	6	4	5	1

HP	49
MP	64
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	スタッフ	至近	-1	2	0	1	0	0	0
左手									
頭部	ビレッタ					2			
胴部	レビテートローブ					2			
補助	ポイントアーマー				-1	3			
装身具	高位聖印								
能力値			4	0	4	0	5	8	8
スキル									
その他									
総計(右)			3	2					
総計(左)					3	8	5	8	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	6			6	+ 2 d
アイテム鑑定	6			6	+ 2 d
魔術判定	6			6	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	4			4	+ d

現在重量: 6
 最大重量: 9
 所持金: 995
 預金・借金:

所持品	
枕	
ポーションホルダー	
ハイMPポーション*5	
冒険者セット	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果: タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3								
プロテクション	1	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果: 対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
↓ハーフブラッド所得	◇							
効果: ↓エルダナーンイモータリティにて所得								
トリビアリスト	★	6	判定直前		自身	自動成功	シ-1	
効果: 判定を【知力判定】で判定								
	1							
効果: ↓エルダナーンイモータリティにて所得								
エフィシエント	5	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 効果をダイスで求める魔法攻撃・HP回復・ダメージ増加・ダメージ軽減を行う魔術に+SL×2する								
ヒール	★	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: HPを3D+CL×3回復する								
ホーリーウェポン	2	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: 対象にダメージ増加を行う・武器攻撃がメジャーに+SL*3								
ラーニング(イクスマ村)↓	★		効果参照		-	-		
効果: 「タイミング:メイキング」が含まれていない種族スキルからひとつ選択せよ。選択した種族スキルを取得する。ただし、取得に一定以上のCLが必要なスキルは取得できない。また、【幸運基本値】に-3する。								
ディフィプリレイター	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果: 効果をダイスで求める[スキル/パワー/アイテム]・HP回復・MP回復を行う[スキル/パワー/アイテム]の効果に+1D								
クイックヒール	★	5	インテリゲン	-	自身	自動成功	シ-1	
効果: 「ヒール」を行う								
エンサイクロペディア	★	-	セットアップ	-	自身	自動成功		
効果: エネミー識別可能								
マジックブラスト	1	3	ムーブ	-	自身	自動成功		
効果: メジャーアクション単体の魔術を対象範囲のSL×2体へ変更、メインプロセス終了まで持続								
コンセントレイション	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 魔術判定に+1D								
チェックメイト	1	4	DR直前	20m	単体	自動成功	シ-1	
効果: 対象が行う攻撃DR直前に使用、攻撃のダメージに+SLDする。このダイスはあなたが振る、自身に使用不可								

「平和な国と聞いて来たのに…どうしてこうも面倒ごとばかり舞い込むのか…」
 「うるさい！お前を出世させるぞ！」
 フェリタニア合衆国の元軍人ークレリス・ゼヴァン (Crelis Xevan)
 ヒューリン/エルダナーンハーフ (イモータリティ)

偶然助けた軍上層部の軍師に、「食い扶持がなくて困っている」と冗談めかして話したことをきっかけに、半ばコネで軍へ入隊する。

貴族でも士官学校出でもない彼は、出世とは無縁の扱いを受けていたが、本人はむしろそれを望んでいた。ほどほどに働き、ほどほどの地位に収まり、安定した給与でのんびり暮らす—それが彼の人生設計だった。

しかし、その願ひとは裏腹に国を揺るがしかねない大規模な騒動が発生。否応なく巻き込まれることとなる。普段はやる気のない彼だったが、さすがに死ぬのは御免とばかりに全力を発揮。結果、騒動の鎮圧に大きく貢献してしまう。

その功績はあまりにも大きく、上層部から高く評価されることとなった。

—「あかん、功績がでかすぎる、想定以上に大出世してまう。なんとかせな」

危機感を覚えた彼は上官にこう進言する。

「此度の件は、私一人の力ではありません。部下たちの尽力あつての成果です。評価されるべきは彼らです。また、犠牲を出してしまった以上、責任は指揮をした私にあります」

